

大会名称: **第25回東北大学バスケットボールリーグ**
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: **東北学院大学泉キャンパス体育館**
 試合区分: **No. 0907A2 1次リーグ男子**
 期日: **2024/9/7(土)** 主審: **小川裕之**
 開始時間: **15:00** 副審: **佐賀雄幸**
 副審: **藤原英幸**

東北学院	○	69	●	48	岩手
一部4位					一部6位

東北学院大学

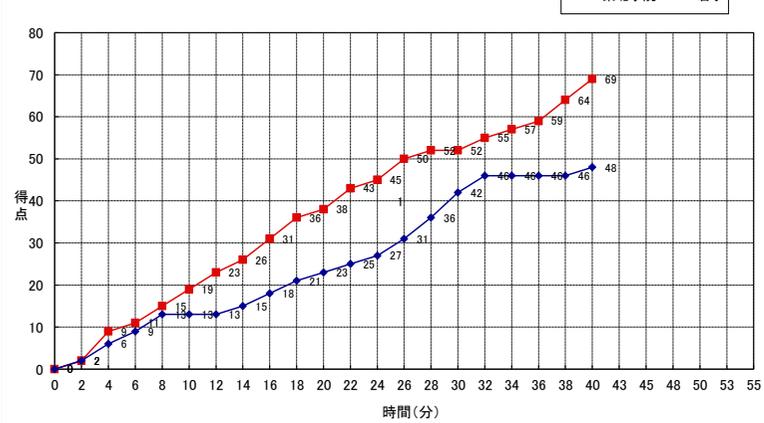
No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
4	*	高梨力玖	2	0	3	1	7	0	0	2	3	7	10	2
1		中村志温	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2		菅原雅平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6		高橋翔	7	0	0	3	5	1	1	3	1	1	2	0
7	*	鈴木勇志	10	1	1	3	5	1	1	2	1	4	5	2
8		渡部颯太	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
10		大関泰河	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	*	遠藤奨太	8	0	2	4	11	0	0	2	2	4	6	2
12		岩館伯	8	2	6	1	3	0	0	1	2	4	6	2
14		岩館飛香	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
17		八重樫亮司	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	*	川村優生	14	0	0	7	14	0	0	1	0	3	3	0
22		石井雅久	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
37	*	太田代樹	17	3	5	1	4	6	6	0	2	0	2	0
99		工藤太陽	1	0	0	0	2	1	2	1	0	3	3	0
TEAM														
合計			69	6	17	21	54	9	10	13	11	27	38	8
				35.3%		38.9%		90.0%						

岩手大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
8	*	佐々木優輝	2	0	1	1	2	0	0	3	4	5	9	0
1	*	三浦悠音	9	1	3	3	5	0	0	2	2	3	5	1
5		植田響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10		戸田一茶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		加茂慈貴	2	0	1	1	0	0	0	2	2	4	1	
12		佐藤義章	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	*	山口尚矢	15	1	8	5	7	2	4	3	1	3	4	1
15		伊藤結人	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	
17		中村壮良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		金田遼弥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	*	和野恭吾	5	1	10	1	4	0	0	1	3	4	2	
25		和島太陽	2	0	0	1	3	0	0	1	1	2	0	
30		柴田誠史	4	0	4	2	5	0	0	2	0	1	1	0
55		齊藤啓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0	*	多田優次朗	9	0	5	4	9	1	1	0	0	6	6	0
TEAM														
合計			48	3	33	18	36	3	5	10	11	26	37	5
				9.1%		50.0%		60.0%						

PTS: ポイント
 M: 成功
 A: 試投
 %: シュート率
 FG: フィールドゴール
 3P: 3ポイントシュート
 2P: 2ポイントシュート
 FT: フリースロー
 F: ファウル
 OR: オフenseリバウンド
 DR: デフェenseリバウンド
 TOT: トータルリバウンド
 AS: アシスト
 S: スターター
 OT: 延長

得点経過



ゲームレポート

○第一クォーター
 第1ピリオド、東北学院大学は、21番と37番を中心に、一対一などで点数を重ねた。岩手大学は13番と1番のスリーで流れを掴み、接戦の展開となった。両者リバウンドを確実に制し、激しい展開となった第一ピリオドは、19-13の東北学院リードで終える。

○第二クォーター
 東北学院大学は、激しいディフェンスから相手のミスを読み、流れを引き寄せ、第2ピリオド開始から5分で、15点差のリードを奪う。一方で、岩手大学も、個人の一対一で着々と点数を重ね、必死に食らいついたものの、後半なかなかシュートが決まらず、38-23の東北学院リードで前半を折り返す。

○第三クォーター
 東北学院大学は、前半の勢いのまま、出だしからいい流れで点数を積み重ねる。一方で、岩手大学も、0番を中心に点数を積み重ね、全員が積極的な一対一から勢いをつけ、点差を10点差まで縮める。第3ピリオドは、52-42の東北学院リードで終える。

○第四クォーター
 10点差で始まった第4ピリオドは、両者譲らない展開となった。東北学院大学は激しいディフェンスで相手に簡単な得点を許さず、11番を中心に得点を重ねた。一方で、岩手大学は、ドライブからの得点や、相手のファウルを誘うプレーで点数を積み重ねた。残り3分、東北学院大学7番がスリーポイントとジャンプシュートを連続で成功させ、そのまま流れにのった東北学院大学が69-48で勝利を収めた。

○総評
 第一ピリオドは両者譲らない展開となったが、第二ピリオドでディフェンスから流れにのった東北学院大学は15点差をつけ、38-23で前半を折り返す。後半、岩手大学が個人の一対一からの連続得点で点差を縮めたものの、東北学院大学も流れを渡さず、そのまま試合終了。69-48の東北学院大学勝利で試合を終えた。